

1 単元 「球技」バスケットボール

2 指導観

- 球技はボールを媒体として集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や個々の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。

本単元の「バスケットボール」は、アメリカ合衆国で生まれ、オリンピック種目にもなっているメジャーなスポーツのひとつである。相対する2つのチームがコート内を自由に走り回ってボールを奪い合い、ドリブル、パスなどでボールを進め、一定の時間内に相手ゴールにショットしたり、相手のショットを防いだりして、いろいろなチームと得点を争うところに楽しさがあり、筋力・持久力・調整力をはじめ、多くの運動要素を含んだゴール型の集団スポーツである。

また、生徒同士で課題を指摘しあったり、技能の向上に向けて教えあったりすることにより、生徒相互の信頼関係を育むことができ、これからの「豊かなライフスタイルの創造」に向けての礎となるものと考えられる。さらに、ルールやマナーの遵守や、勝敗に対する公正な態度などは、社会生活における望ましい態度や行動にもつながり、人間形成に役立つ学習にもなると考えられる。

- 本学級の生徒（男子24名・女子14名）は2学年次に全員バスケットボールを学習している。バスケットボール部員は男子7名、女子3名である。4月に実施した新体力テストでは男子は全体的に平成20年度の県平均に近い値で、瞬発力（50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）がやや優れており、筋力（握力）が劣っている。女子は全体的に県平均をやや下回っており、特に筋力（握力）は劣っている。

アンケートの結果を見ると体育の授業を「好き」「どちらかというが好き」と答えた生徒は82%で、保健体育の学習への興味・関心が高く、多くの生徒が積極的かつ意欲的に授業に臨んでいる。バスケットボールの授業を「好き」「どちらかというが好き」と答えた生徒は91%で、バスケットボールの特性に触れることができていると考えられる。過去の運動経験でうれしかったこと、楽しかったこととしては、「シュートが決まったこと」（14人）、「試合で勝ったこと」（7人）、「みんなと協力して楽しくできこと」（6人）、「パスがよくまわってきたこと」、「いいパスができたこと」などという回答である。反対にいやだったこと、楽しくなかったこととしては、「うまくプレーができなかったこと」（10人）、「審判をした時、文句を言われたこと」、「チームの中にやる気がない人がいたこと」などと答えている。また、パス、ドリブル、シュートといった個人的・基本的技術については「できる」、「大体できる」と答えた生徒はそれぞれ91%、79%、66%である。しかし攻め方、守り方といった集団的技術については「できる」、「大体できる」と答えた生徒が50%である。

以上のことから、技能面については経験不足から技能の習得が十分にできていないと考えられ、関心・意欲面については仲間と協力して楽しくプレーすることを望んでいる生徒が多いと考えられる。

- 指導にあたっては、まずオリエンテーションで男女別チーム（男子4チーム・女子2チーム）を編成し、既習事項をもとにしながらチーム内での役割分担を明確にし、協力して学習活動を進めること、チームごとの話し合いを大切にすること、学習計画立案に必要な資料を十分に活用すること、審判係・得点係・計時係・記録係など自分たちでゲーム運営ができるようにすることなど、自発的・自主的なチームごとの課題解決学習の取り組みを意識させたい。

次に基本的な技術練習を中心に行い、習得した技能を生かしながら簡易ゲームを行う。一人ひとりが楽しさを味わえるように、シュートの基本技能習得のための時間を十分にとり、シュート力の向上に力を入れる。ゲームの中でチャンスがあれば積極的にシュートを打たせる。特に体格・体力・技術面で不利な生徒には個別指導を行っていききたい。

さらにゲームでは同じ対戦相手と「ゲーム1→ミーティング→ゲーム2」の形態で行い、ゲーム1での反省をゲーム2に生かすためのミーティングを充実させるよう、巡回しアドバイスをを行う。また、ゲームの反省を次回のチーム練習につなげることができるよう、グループノートを活用し、特徴を生かしたチーム作りをさせていききたい。男子対女子のゲームでは体力差や体格差を考慮して、段階に応じてルールを工夫していく。

最後にリーグ戦を行い、自分たちのチームの特徴を生かしたり、相手チームの特徴に応じたりしながらゲームを進めていく。そして球技クラスマッチを自分たちで運営できる力を養わせたい。

3 目標

- お互いに教えあったり、励ましあったりしながら意欲的な態度でゲームや練習に取り組もうとする。
- バasketボールについて、自分にあつためあてをつかみ、課題解決にむけて練習方法を選択したり、工夫したりすることができる。
- ゲームの中で状況に応じてドリブルシュートやセットシュートを行うことができる。
また、相手チームに応じたオフense、ディフェンス（ゾーン、マンツーマン）をすることができる。
- Basketballの特性、ルール、技術のポイントを理解できる。

4 学習計画（15時間）

関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能 知：知識・理解

次	時	活動内容	目標達成のための手だて	評価規準
一	2	1. オリエンテーションを通してバスケットボールの特性やルール、学び方を理解する。 ・バスケットボールの特性やルール ・授業の進め方 ・グループ編成、係決め ・グループノートの書き方	○副読本「中学体育実技」を活用し、バスケットボールの特性やルール、学び方を説明する。 ○チーム力が均等になるようなグループ編成を行うよう助言する。 ○グループノートの書き方を説明する。	関：資料などを参考に関心を持ち、バスケットボールの特性を理解しようとする。 【様相チェック・ノート分析】 知：バスケットボールの特性や学び方を知っている。 【様相チェック・ノート分析】
二	3	2. 基本的な技術を習得し、自分たちができる技能・作戦を使い、簡単なルールでゲームを楽しむ。 (1) 基本技術練習 ・ドリブル ・ストップ ・ピボット ・チェストパス ・サイドハンドパス ・ショルダーパス ・セットシュート ・ドリブルシュート ・ランニングシュート (2) 簡易ゲーム	○自分の役割を自覚して、健康や安全に留意して、お互いに協力して、練習やゲームを進めるよう助言する。 ○今できる技能でルールや作戦を工夫しながら試しのゲームを行い、運動の楽しさや喜びを味わわせる。 ○基本的技術のポイントを説明して、反復練習に取り組みさせる。	関：チームにおける自己の役割を自覚し、健康・安全に留意しながら仲間と協力して練習やゲームを行う。 【様相チェック・ノート分析】 思：練習やゲームを通して、自己やチームの課題を設定することができる。 【ノート分析】 技：基本的な技能（個人・チーム）を習得することができる。【活動状況チェック】 知：各種技術の要領を理解している。 【発言チェック・ノート分析】
三 本 時 7 ／ 15	7	3. 作戦や練習を工夫し、自分たちの特徴を生かしたチームを作りながらゲームを楽しむ。 ・グループ練習 ・ゲーム ・ルール、審判法	○仲間と協力して練習方法や作戦を工夫し、自己やチームの課題を発見したり、練習を工夫したりできるようアドバイスをする。 ○集団的スキルを高めるために、練習の意味を把握させ、お互いに協力し声をかけあいながら練習させる。 ○副読本『中学体育実技』を活用し、ルールや審判法について説明する。 ○ゲームを通して新しい課題を発見するために話し合いの場を設定する。	関：作戦や練習を工夫して勝敗を競い、バスケットボールの楽しさや喜びを味わっている。 【様相チェック・ノート分析】 思：練習やゲームを通してチームの特徴や課題を見つけ、練習や作戦を工夫することができる。 【活動状況チェック・ノート分析】 技：基本的スキルを高め、ゲームで生かすことができる。 【活動状況チェック】 知：バスケットボールのルールや審判法を理解できる。 【発言チェック・ノート分析】
四	3	4. 攻撃力・守備力を生かし、相手チームの特徴に応じた作戦を工夫しながら総当たりのゲームを楽しむ。 (1) 学習のまとめと振り返りをする。 ・リーグ戦 (2) まとめと評価	○対戦チームの特徴を分析し、作戦を工夫してゲームを行い運動の楽しさや喜びを味わえるように支援する。 ○勝敗に対して公正な態度がとれるよう指導する。 ○リーグ戦のルールや進め方を確認し、自分たちでリーグ戦を運営していく意識を高めさせる。	関：仲間と協力し、楽しく安全にゲームを行っている。 【様相チェック・ノート分析】 思：自分のチームや相手チームの特徴をつかんだ作戦をたてることができる。 【活動状況チェック・ノート分析】 技：練習したチームのスキルをゲームで生かすことができる

					【活動状況チェック】 知：試合の進め方を理解し、リーグ戦の運営ができる。 【活動状況チェック】
--	--	--	--	--	---

5 本時
平成21年10月7日（水曜日） 第5校時 第3次の2 運動場にて

(1) 本時の指導観

生徒は前時まで基本的技術であるパス・ドリブル・シュートなどの学習、ゲームを行ってきた。基本的な技術の練習の場面では、リーダーに雰囲気作りを大切にするよう指導したことやほとんどの生徒が意欲的に授業に取り組もうとしていることから、グループでの活動の状態も良好である。しかし、チームによっては活動が停滞しているところもあったので、巡視しながら助言をしてきた。チーム練習では習得した技能を發揮している生徒が増えてきているが、ゲームの中ではそれらの技能が生かされていない状況である。

そこで本時では、まず個人的技能を高めながら、自分たちで考えてきたチームの特徴を生かした攻撃パターンや守り方を練習させる。次にゲームを通して練習の成果を發揮できるようにアドバイスし、特徴を生かしたプレーの実践を心がけさせたい。さらにハーフタイムのミーティングにおいては、各チームを巡視してバスケットボールの経験者や技能が優れている生徒が中心となり、前半の反省をもとに後半に向けて作戦を確認・修正できるよう指導・助言をする。最後に本時のまとめを行い、次時の活動の見通しをもたせたいと考えている。

(2) 主眼 ○チームの特徴を生かした攻撃・守備を發揮してゲーム楽しむことができる。

(3) 準備 ①バスケットボールコート2面 ②バスケットボール30個 ③笛12個
④ホワイトボード ⑤得点板2個 ⑥デジタイマー ⑦ゼッケン42枚
⑧グループノート ⑨めあてカード ⑩副読本『中学体育実技』

(4) 過程

学習活動・内容	準備	手だて(○)と評価(■)	形態	配時
<p>1 学習の準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具、コート準備 ・号令走、準備運動、トレーニング ・チームミーティング 出欠確認、忘れ物確認 本時の目標、学習内容、 対戦相手を確認する。 ・集合、整列、あいさつ ・全体ミーティング 出欠確認、忘れ物点検、健康観 察、本時のめあてと流れの確認 (学習のめあて) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>チームの特徴を生かした攻撃・守備を發揮してゲームを楽しもう。</p> </div>	①④ ⑧⑨	<p>○安全に素早く準備ができるように助言する。</p> <p>○準備運動を通して体の調子に気づかせたり、チームメイトとの交流を深めさせたりさせる。</p> <p>○チームでの話し合いがスムーズに行われるように助言する。</p> <p>○めあてや学習内容が理解できているかどうか、チームを巡視して確認する。</p> <p>○チームごとの目標を發表させるとともに全体のめあてを確認させる。</p>	一斉	7
<p>2 チーム練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームで考えてきた練習をする 	②⑧ ⑩	<p>○チームに分かれてからの練習において、活動がスムーズに行われるように助言する。</p> <p>○計画した練習がうまくいっていないチームへの支援をする。</p> <p>■関：作戦や練習を工夫して、バスケットボールの楽しさや喜びを味わっている。 【様相チェック】</p>	グループ	10
<p>3 ゲームをする。</p> <p>ゲーム1→ミーティング→ゲーム2</p>	②③ ⑤⑥	<p>○ゲーム中、積極的に声かけやアドバイスをさせる。</p>	グループ	26

<ul style="list-style-type: none"> ・第1試合（3分－2分－4分） Aコート 2班対5班（1班） Bコート 3班対6班（4班） ・第2試合（3分－2分－4分） Aコート 2班対4班（6班） Bコート 1班対5班（3班） 	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ○ミーティングにおいてゲーム1の分析が できているかを巡視し、アドバイスをす る。 ○審判の生徒へは、適宜アドバイスをす る。 ■技：基本的技能を高め、ゲームで生かす ことができる。【活動状況チェック】 		
<p>4 本時のまとめと次時の確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームミーティング 本時の反省と次時の目標決め ・全体ミーティング 本時の反省と次時の目標発表 次時の確認、あいさつ 	⑧⑩	<ul style="list-style-type: none"> ○本時を振り返り、グループや個人の評価 を行わせ、次時の課題を見つけさせる。 ○本時を振り返り良かった点を賞賛し、次 時への意欲がもてるようにする。 ■思：練習やゲームを通してチームの特徴 や課題を見つけ、練習や作戦を工夫 することができる。 【活動状況チェック・ノート分析】 	グル ープ 一斉	7

バスケット ボール

グループノート

チーム名

	メンバー
組	班長… 副班長… 用具係…
班	計時係… 記録係…

みなさんは、今日からバスケットボールの学習にはいります。15時間の授業は自分たちで自主的に学習を進めていくこととなりますので、オリエンテーションの内容をしっかりと聞いて、これからの学習の見通しをもってください。

1. バスケットボールの特性

- ・ 相対する2チームが、コート内を自由に走り回ってボールを奪い合い、ドリブル、パスなどでボールを進め、一定の時間内に相手ゴールにショットして得点を競い合うスピード感あふれる集団スポーツである。
- ・ パスやドリブルでボールを進め、相手ゴールにショットしたり、相手のショットを防いだりして、いろいろなチームと得点を争うところに楽しさがある。

2. 目標

- ・ 基本的な個人技能を身につけながら、仲間と協力して練習やゲームを行い、バスケットボールの楽しさを味わう。

3. 学習のみちすじ

- めあて1 基本的な技術を習得し、自分たちが今できる技能・作戦を使い、簡単なルールでゲームを楽しむ。
- めあて2 作戦や練習を工夫し、自分たちの特徴を生かしたチームを作りながら、ゲームを楽しむ。
- めあて3 攻撃力・守備力を生かし、相手チームの特徴に応じた作戦を工夫しながら総当たりのゲームを楽しむ。

4. 学習計画

配時	1 2	3 4 5	6 7 8 9 10 11 12	1 3 1 4 1 5
0	○・ 学 習 の 進 め 方 に つ い て 確 認 す る グ ル プ ノ ン ド の 役 割 入 分 担 を 確 認 す る	1. 用具・コート の準備 2. グループミーティング (めあて・練習内容・対戦相手を確認) 3. 全体ミーティング (欠席・見学・服装の確認、学習の進め方、めあての確認) 4. 準備運動 (体ほぐし運動・体力を高める運動)		
1 0		めあて1 基本的な技術を習得し、自分たちが できる技能・作戦を使い、簡単なルールで ゲームを楽しむ。	めあて2 作戦や練習を工夫し、自分たちの特徴を 生かしたチームを作りながらゲームを楽し む。	めあて3 攻撃力・守備力を生かし、相手チームの 特徴に応じた作戦を工夫しながら総当た りのゲームを楽しむ。
2 0		○基本練習をする (20分) ・ドリブル ・チェストパス ・サイドハンドパス ・ショルダーパス ・セットシュート ・ドリブルシュート ・ランニングシュート ・ストップ ・ピボット	○グループ練習 (10分) ・チームで考えた練習 を協力して行う。	○リーグ戦をする (第1試合…12分) ・前後半 5分ゲーム 【審判・得点等もする】
3 0		○ゲームをする (15分) ・3 on 3 ・ドリブル禁止ゲーム ・ワンドリブルゲーム	○練習ゲーム 5対5 (第1試合…10分) 前半ーミーティングー後半 (4分)(2分)(4分)	○リーグ戦をする (第2試合…12分) ・前後半 5分ゲーム 【審判・得点等もする】
4 0		○ゲームをする (15分) ・3 on 3 ・ドリブル禁止ゲーム ・ワンドリブルゲーム	○練習ゲーム 5対5 (第2試合…10分) 前半ーミーティングー後半 (4分)(2分)(4分)	○リーグ戦をする (第3試合…12分) ・前後半 5分ゲーム 【審判・得点等もする】
5 0	1. 整理運動及びチームミーティングをする (本時の反省・次時のめあて決め) 2. 全体ミーティングをする (本時の反省・次時の確認) 3. 後片づけをする			

5. 評価について

観点	個人	集団
関心 意欲 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○特性に興味・関心をもち、進んで運動を楽しもうとしているか。 ○ゲームや練習に意欲的に挑戦しようとしているか。 ○互いに助け合い、励まし合いながら練習をしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいをもち、練習やゲームをしようとしているか。 ○勝敗に公正な態度で臨み、特性に触れ、楽しもうとしているか。 ○準備や片づけを協力して行い、安全に留意しようとしているか。
思考 判断	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の能力を知り、課題解決に努め計画的を立て、練習を工夫することができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標設定ができ、アイデアを出し合い、練習を工夫することができているか。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的技術を身につけ、ゲームに生かすことができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の能力や技能に応じてチームの作戦をたて、ゲームができているか。
知識 理解	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の学び方、深め方が理解できているか。 ○ゲームの進め方、作戦の立て方を理解できているか。 ○ルールや審判法を理解できているか。 	

6. 役割分担

係名	仕事内容	氏名
班長	ゲームでの主審、班の代表者、出席確認、集合・整列の指示	
副班長	ゲームでの副審、班長の補佐、班会議の司会	
計時係	ゲームでの試合時間の計時、ストップウォッチの準備・管理	
記録係	ゲームでの得点係、グループノートの記入責任者	
用具係 (2～3名)	ボール・ゼッケン・得点板の準備、管理、後片づけ、ライン引き	

役割	氏名	本時の課題・めあて	本時の反省	今日の得点 通算得点
班長				
副班長				
計時係				
記録係				
用具係				
用具係				
用具係				

観点								
関心 意欲	練習やゲームに意欲的に取り組んだ							
	協力して楽しく授業に取り組んだ							
思考 判断	自分の課題を発見できた							
	課題解決の練習やゲームができた							
技能	基本的技能を高めることができた							
	チームでの攻め方・守り方ができた							
知識 理解	ゲームの進め方が理解できた							
	ルールや審判法を理解できた							

試合順

	Aコート			Bコート		
試合順	対 戦		審判	対 戦		審判
1	1 班	対 2 班	5 班	3 班	対 4 班	6 班
2	5 班	対 6 班	2 班	1 班	対 4 班	3 班
3	2 班	対 5 班	1 班	3 班	対 6 班	4 班
4	2 班	対 4 班	6 班	1 班	対 5 班	3 班
5	1 班	対 3 班	2 班	4 班	対 6 班	5 班
6	3 班	対 5 班	4 班	2 班	対 6 班	1 班
7	1 班	対 6 班	3 班	4 班	対 5 班	2 班
8	2 班	対 3 班	6 班			

リーグ戦

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	
1 班		-----	-----	-----	-----	-----	
2 班	-----		-----	-----	-----	-----	
3 班	-----	-----		-----	-----	-----	
4 班	-----	-----	-----		-----	-----	
5 班	-----	-----	-----	-----		-----	
6 班	-----	-----	-----	-----	-----		

3年生 バスケットボール

	評価基準	評価方法
関心 意欲 態度	・ 資料などを参考に関心をもち、バスケットボールの特性を理解しようとする。	・ 様相チェック ・ ノート分析
	・ チームにおける自己の役割を自覚し、健康・安全に留意しながら仲間と協力して練習やゲームを行う。	・ 様相チェック ・ ノート分析
	・ 作戦や練習を工夫して勝敗を競い、バスケットボールの楽しさや喜びを味わっている。	・ 様相チェック ・ ノート分析
	・ 仲間と協力し、楽しく安全にゲームを行っている。	・ 様相チェック ・ ノート分析
思考 判断	・ 練習やゲームを通して、自己やチームの課題を設定することができる。	・ ノート分析
	・ 練習やゲームを通してチームの特徴や課題を見つけ、練習や作戦を工夫することができる。	・ 活動状況チェック ・ ノート分析
	・ 自分のチームや相手チームの特徴をつかんだ作戦をたてることができる。	・ 活動状況チェック ・ ノート分析
技能	・ 基本的な技能（個人・チーム）を習得することができる。	・ 活動状況チェック
	・ 基本的技能を高め、ゲームで生かすことができる。	・ 活動状況チェック
	・ 練習したチームの技能をゲームで生かすことができる。	・ 活動状況チェック
知識 理解	・ バスケットボールの特性や学び方を知っている。	・ 様相チェック ・ ノート分析
	・ 各種技術の要領を理解している。	・ 発言チェック ・ ノート分析
	・ バスケットボールのルールや審判法を理解できる。	・ 発言チェック ・ ノート分析
	・ 試合の進め方を理解し、リーグ戦の運営ができる。	・ 活動状況チェック